

## 2 みどり環境分野

(1) 分野の重要テーマ (テーマにかかる現状と課題)	1)自然を活かした公園づくり 2)雑木林(ヤマ)の活用と環境教育 3)ゴミ減量 1)住民が必要とする公園マップか 2)保全されてない雑木林の調査、子供の農業体験や自然体験の場が少ない 3)容器包装プラスチックが多すぎる			
(2) 事業メニュー	施策・事業名	事業分類	事業概要と協働効果	協働担当課
	1 公園マップづくり	②③	公園廻り現状把握。住民が知りたいマップづくり	都市計画課
	2 ヤマ掃きボランティア	②④⑤	場の確保、ボランティア募集、地権者仲立ち	産業振興課
	3 ヤマの管理作業ボランティア	①	雑木林保全状況と対策、関係団体との組織作り	産業振興課
	4 子どもたちの自然環境教育	②④⑤	参加する子供の確保、体験可能な農家の確保	教育委員会
	5 マイバック運動	②	全町的マイバック運動。レジ袋有料化、ごみ減量。	自治環・産振
	6			
	7			
(3) モデル事業				
	1) 事業名	雑木林(ヤマ)の活用と環境教育		
	2) 事業形態	直轄事業		
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価・委員募集		
	4) 協働担当課	産業振興課・都市計画課・教育委員会		
	5) 事業目的及び協働効果	自然を体験し、雑木林の重要性を認識する。みどり豊かなまちづくりへの参画。		
	6) 事業内容	ヤマの管理作業、ヤマ掃き作業、子どもの自然環境教育		
	7) 役割分担 住民側 行政側	作業への参加 場所の提供、交渉、関係者との連絡調整		
	8) 実施に当たっての課題と対応策			

### 【(2)「事業メニュー」の事業分類】

- ①重要課題だが長期的検討又はまとまった予算が必要な施策・事業
- ②住民主体で経費がかからず、すぐに実現可能な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ③現状では行政のみの事業だが、協働で実施すると効果的な事業(直轄事業/モデル事業候補)
- ④まちづくりネットが支援し、別の担い手の育成を働きかける事業(つながり支援事業/〇〇住民会議、ワークショップなど)
- ⑤既存の住民活動があるが、協働手法による支援・連携が必要な事業(つながり支援事業/ネット勧誘、事例発表会など)
- ⑥当面は行政のみの実施として経過を見守るが、将来的に何らかの協働を検討すべき事業
- ⑦その他